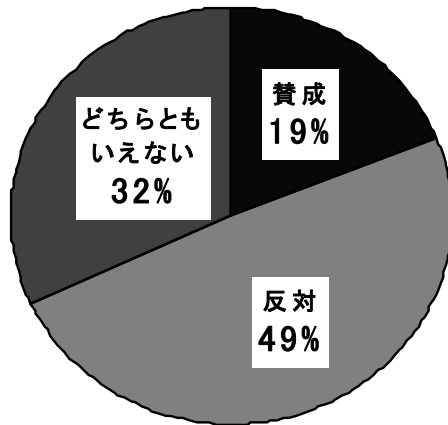




## 新町西再開発で 「おはようたくしま」がアンケート

新町西再開発の賛否



四国放送「おはようたくしま」が、六月六日、七日に「新町西再開発」のアンケートを実施し、六月十日、その結果を放映しました。

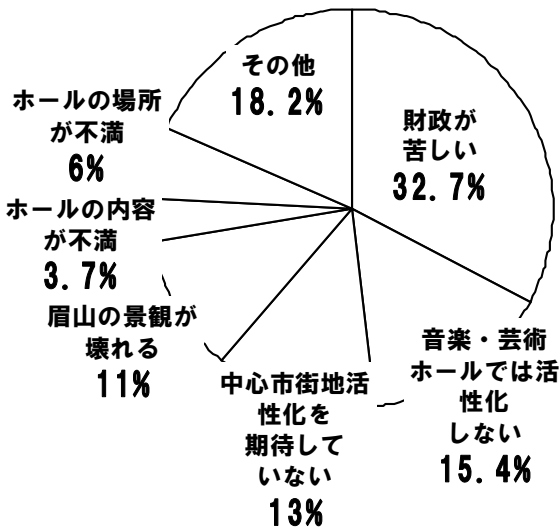
**再開発「賛成」は  
わずか十九%**

右の円グラフをご覧ください。新町西再開発「反対」が四十九%もあるのに、「賛成」は、わずか十九%しかありません。

市長選挙で、新町西再開発の推進を掲げた原氏が勝利し、現在、再開発のパンフレット配布や説明会を開催しているにもかかわらず、「賛成」の比率がドンドン少なくなっている



「反対・どちらともいえない」と答えた人の理由



：そんな様相が、このアンケート結果に現れています。

**「反対」理由の最多は「財政が苦しい」**

上の円グラフですが、「反対・どちらともいえない」が、合わせて八十一%もあります。その理由は左の円グラフの通りです。

「おはようたくしま」では、鳴門教育大学の山本教授がコメントター。「財政が苦しい」が、三十二・七%と最も多かったことに対して「夕張市を考えると、(当然)そういう結果になる」とコメント。

また「音楽・芸術ホールでは活性化しない」が十五・四%でした

が、「ホールは夜間が主体(で活性化は困難だが)、図書館やシネコンなら活性化する」とコメント。アナウンサーも「文化センターや郷土文化会館周辺はにぎわっていない」とコメントしていました。

また「中心市街地活性化を期待していない」が十三%でしたが、「一部の地域(新町西)の活性化にだけ、税金が使われるのに納得できない」とコメント。

「眉山の景観が壊れる」が十一%でしたが、「(二十二階建て超高層マンションは)全国的な景観保全という流れに逆行している」とコメントしていました。

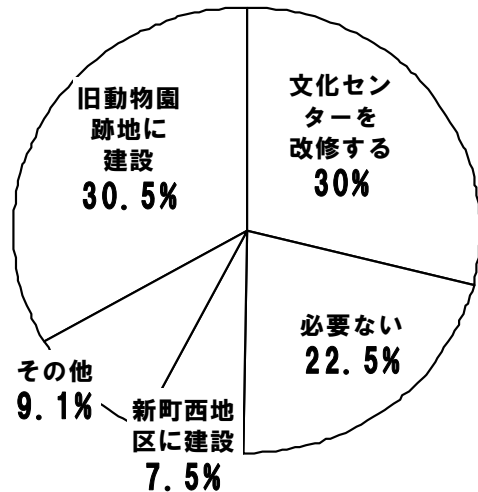


**音楽ホールを  
「新町西に建設」は  
わずか七・五%**

裏面の円グラフをご覧ください。「音楽・芸術ホールをどうすれば？」という問いに対し、「新町西地区に(音

【裏面に続く】

音楽・芸術ホールをどうすれば？



芸ホールを「建設」は、わずか七・五%しかありません。

一方、市民合意ができていた「旧動物園跡地に建設」は、わずか七・五%しかありません。

物園跡地に建設」は三・五%で、「文化センターを改修する」は三〇%。新町西再開発ビルに音芸ホールを建設する計画を止め、旧動物園跡地での建設を進める：そして当面の間は、文化センターを改修し活用する：ここに徳島市民の「民意」があります。



# 新町西再開発 「意見書」

## ダントツ最高の七千八百通

六月二日～十六日まで、「新町西再開発」都市計画案の公告・縦覧が行なわれましたが、七千八百人分もの「意見書」が提出されました。

「意見書」数の過去最高が七百数十人分でしたから、

その十倍にもなるダントツ最高数です。

「新町西再開発」への賛否で



### 徳島市都市計画審議会は

#### 「公開」を決めている

この「意見書」は、徳島市都市計画審議会(都計審)で審議されますが、現在、都計審は「非公開」です。

しかし「公開」にする、ということを決めています。

五月二十七日付徳島新聞は「徳島市都市計画審(議会) 会議の公開了承 時期・内容持ち越し」という見出しで、「徳島市都市計画審議会が二十六日、市役所であり、非公開となつている会議を原則公開にする要綱修正案が了承された。公開時期や内容については次回に持ち越した。委員十二人が出席。事務局が示した公開案については全会一致で同意したものの、議事録で発言者の氏名が公になることに対しては『自由な討議を妨げる恐れがある』との異論も出た。次回会合までに全委員十四人の意見を再確認する」と報じました。



徳島県都市計画審議会は数年前から公開されていますが、議事録では発言者の氏名を公表し、ホームページにも掲載・県民に開かれた中で審議会を行なっています。徳島市も当然「そうすべき」です。

### 公開された都計審で

#### 「意見書」審議するのが

#### 市民への責務

都市計画法では、「市町村(市長)が都計審の議を経て、都市計画を決定する」となっていますが、「いつ都計審に諮問するのか」は、「市長の判断」です。

七千八百通もの市民の「意見書」を審議する都計審：「公開」が正式に決まった段階で、市長が新町西再開発の都市計画案を都計審へ諮問するのが、市民への責務です。

### 編集後記

六月議会が二十三日閉会しました。日本共産党市議団は、今議会に提案された『新町西再開発の(補正)予算』に反対しました。

「ホットニュース」でいろいろと紹介してきた通り、市長は市民の意見を聞くふりをして計画を見直さず(見直したのは都計審の日程を市長

選挙後にズラしただけ)、一気に都市計画決定へ突っ走ろうとしています。が、「こうしたやり方」を、多くの市民が許さないでしょう。

今議会で沖洲マリリンピアに、小松島競輪の場外車券売り場・サテライトを建設する計画が明るみに出ました。徳島市では初の公営ギャンブル場：悪影響が懸念されますが、次号に詳細を掲載する予定です。